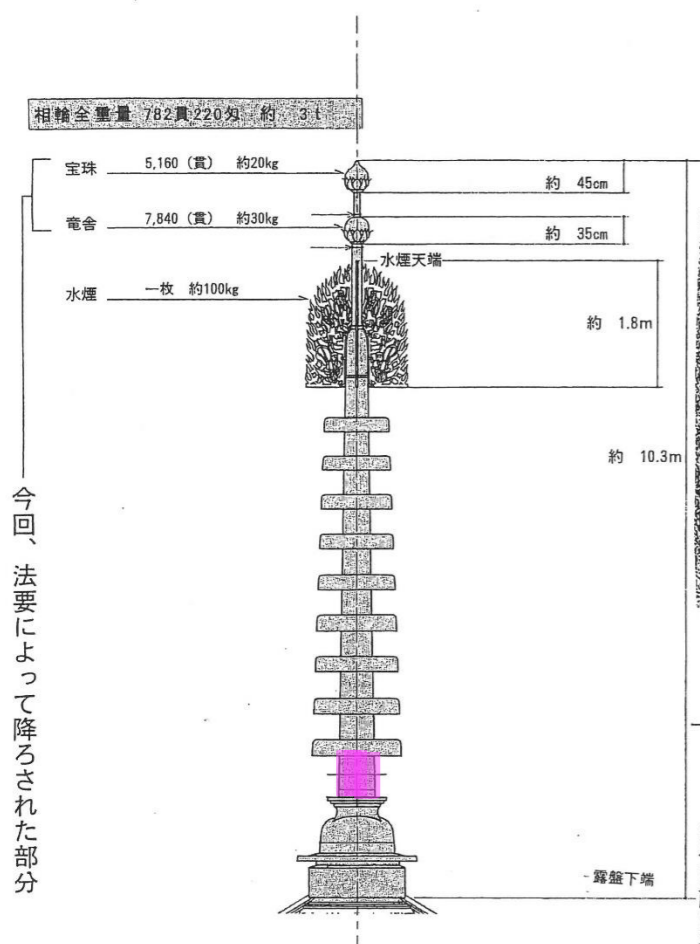


東塔相輪部模式図



維清原宮取宇
天皇即位八年庚辰之歲正月以
中宮不念創此伽藍而鋪金未遂龍駕
臨仙大上天皇春過前緒遂成斯業
照先皇之私誓光後帝之玄功迫濟那
生業債贖劫式於高踰敬勸貞金
其銘曰
巍巍蕩蕩藥師如來大發誓願廣
運慈哀倚興聖王仰迓宜助夏
傍靈宇莊嚴調御亭亭寶刹
奔奔去域福崇德切慶溢萬

藥師寺東塔檨銘

維清原宮取宇天皇の即位八年、庚辰の歲建立の月、中宮の不愈したまふを以て、此の伽藍を創めたまふ。而るに鋪金未だ遂げたまはずして、龍賀騰仙したまへり。太上天皇、前諸に遵ひ奉りて、遂に斯の業を成したまふ。先皇の弘誓を照し、後帝の玄功を光し、道は群生を濟ひ、業は曠劫に伝ふ。高踰に式り、敢て貞金に勸す。其の銘に曰く、
巍々蕩々たり藥師如來、大いに誓願を發し、広く慈哀を運らしめたまふ。猗猗聖王、仰いでは冥助を延ぶ。爰に靈宇を飭り、調御を莊嚴したまふ。亭々たる宝刹、寂々たり法城。福は億劫に崇く、慶は萬齡に溢れむと。

- ⑥ 東塔檨銘
- ⑦ 建子の月ケンの月は十一の月のこと。本文の立は子の誤り。
- ⑧ 騰仙 仙域にのぼること、即ち崩せられること。
- ⑨ 高踰 故人のこした偉業。
- ⑩ 貞金 堅たい金物。
- ⑪ 巍々蕩々 高く広く大きいさま。藥師如來の慈悲を贊えて誓願。ここでは藥師如來の十二大願を云う。
- ⑫ 立 醜縁並群本共作「子」
- ⑬ 愈 群本・檨銘等作「念」
- ⑭ 賀 醜縁並群本等共作「駕」
- ⑮ 諸 醜縁並群本・護縁・檨銘等作「緒」
- ⑯ 光 群本・「群」・「式」
- ⑰ 眞 原本作「先」・「耶」
- ⑱ 或 眞 眞 今以醜縁群本・護縁等諸本、改之
- ⑲ 運 眞 眞 原本作「通」
- ⑳ 猗 眞 眞 今依塔檨銘改之
- ㉑ 亭々 原本作「亭室」、依塔檨銘改之

第40代 天武天皇

壬申の乱の覇者が推進した中央集権的律令国家

- ① 御名・異称 大海人・天智中原 瀬真人尊
- ② 父 舒明天皇
- ③ 母 宝皇女(舒明天皇)
- ④ 皇后 鸕野讃良皇女(持統天皇)
- ⑤ 生没年 〃 〃 〃 朱鳥元(686)・9・9
- ⑥ 年齢 〃 〃
- ⑦ 立太子 天智天皇7(668)・2・23
- ⑧ 在位 天武天皇2(673)・2・27 〃 朱鳥元(686)・9・9
- ⑨ 在位年数 〃 14

- ⑩ 年号 〃 朱鳥
- ⑪ 皇居 〃 飛鳥浄御原宮
- ⑫ 陵名 〃 檜隈大内陵
- ⑬ 古墳名 〃 野口皇ノ墓古墳・野口王墓古墳
- ⑭ 陵の形 〃 円丘(八角)
- ⑮ 所在地 〃 奈良県高市郡明日香村大字野口

第41代 持統天皇

父と夫の遺志を継ぎ律令体制を完成させた女帝

- ① 御名・異称 鸕野讃良 高天原 広野姫尊・大倭根子天乙広野日女尊
- ② 父 天智天皇
- ③ 母 蘇我 遠智 娘
- ④ 配偶者 天武天皇
- ⑤ 生没年 〃 大化元(645) 〃 大宝2(702)・12・22
- ⑥ 年齢 〃 58
- ⑦ 立太子 〃 〃
- ⑧ 在位 持統天皇4(680)・正・1 〃 持

- ⑨ 在位年数 〃 8(称制4)
- ⑩ 年号 〃 〃
- ⑪ 皇居 〃 飛鳥浄御原宮・藤原宮
- ⑫ 陵名 〃 檜隈大内陵
- ⑬ 古墳名 〃 野口皇ノ墓古墳・野口王墓古墳
- ⑭ 陵の形 〃 円丘(八角)
- ⑮ 所在地 〃 奈良県高市郡明日香村大字野口

第45代 聖武天皇

遷都の果てに真言那大仏を開眼した菩提の天皇

- ① 御名・異称 首・天璽 国神 開聖 桜彦尊・勝宝感神 聖武皇帝
- ② 父 文武天皇
- ③ 母 藤原 宮子 娘
- ④ 皇后 藤原 安宿 媛(光明子・光明皇后)
- ⑤ 生没年 〃 大宝元(701) 〃 天平勝宝8(756)・5・2
- ⑥ 年齢 〃 56
- ⑦ 立太子 〃 和銅7(714)・6・25
- ⑧ 在位 〃 神皇元(724)・2・4 〃 天平感

- ⑨ 在位年数 〃 26
- ⑩ 年号 〃 神龜・天平・天平感宝
- ⑪ 皇居 〃 平城宮・恭仁宮・難波宮・紫香楽宮
- ⑫ 陵名 〃 佐保山 南陵
- ⑬ 陵の形 〃 山形
- ⑭ 所在地 〃 奈良県奈良市法蓮町

建造物の部分名称

薬師寺東塔

